

## 新鶴見ドライビングスクール「しんつる祭」にて広報を実施



「敬礼」ポーズをとる5人兄弟



「見てみない？」と子供を促す父親

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、9月24日（日）、新鶴見ドライビングスクール（横浜市鶴見区）で開催された「しんつる祭」において、広報ブースを設置し、訪れた多くの地域住民に広報を行った。子供用迷彩服試着コーナーを訪れた家族連れは「敬礼」などと声をかけあい、迷彩服を着てポーズをとる子供たちを写真におさめるなど、楽しんでる様子だった。また、熊本地震の災害派遣活動写真パネルを前にした来場者は「最後に頼りになるのは、やっぱり自衛隊だ」「自衛隊頑張ってる」などと広報官に声をかけていた。

横浜出張所は「今後も地域のイベントに参加し、自衛隊の活動を積極的にアピールし、防衛基盤の育成を図っていききたい」としている。

## 「川崎みなと祭り」において護衛艦「たかなみ」一般公開を支援 車両展示・募集広報も実施



川崎港に初入港した護衛艦「たかなみ」



川崎港にて一般公開にあたる護衛艦「たかなみ」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資1海佐）は、10月7日（土）、8日（日）の両日、「第44回川崎みなと祭り」において、川崎港東扇島埠頭に初入港した護衛艦「たかなみ」の艦艇広報を支援した。

艦長の筒井 大介2佐は、オープニングセレモニーで歓迎の花束贈呈を受け、その後実施された一般公開では、開始前から多くの人が列をなし、2日間で計8,228人が乗艦した。

岸壁では、陸自中央野外通信群及び第129地区警務隊の支援を受け、31/2tトラック、1/2t警務用トラック、野外炊具1号等を展示し、訪れた親子は31/2tトラックの大きさに驚いている様子だった。

自衛官募集及び子供用制服試着コーナーでは、広報官が募集対象者やその家族にパンフレット等を配布し、説明も行った。海自制服を試着した児童は「大きくなったら、自衛隊に入る」と話し、神奈川地本マスケット「はまちゃん」や「たかなみ」の缶バッジも好評を博していた。

神奈川地方協力本部は「今後も、イベント等を通じて自衛隊の活動をPRし、志願者の獲得にまい進していきたい」としている。